
ナメクジウオの動物学 –“あたま”の起源を探る–

佐藤剛毅（京都大学フィールド科学教育・研究センター瀬戸臨海実験所）

脊椎動物の祖先に最も近縁と考えられている現生の無脊椎動物、ナメクジウオは頭蓋骨や脳と呼べるような構造を持たないため、しばしば無頭類と呼ばれます。昨今中国から次々と発見される化石群に見られる体制は、無頭類から脊椎動物（有頭類）への橋渡しを可能にする動物群として大きな注目を集めています。今回はナメクジウオや現生無顎類の形態形成や遺伝子発現を中心としたデータと古生物学的知見を統合し、有頭類の起源における進化プロセスの詳細な復元を試みます。

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの「閉じる」ボタンでウインドウを閉じてください。